

配達地域について(令和6年度)

- ◎：その町の全域に配達が可能。
 ○：その町の一部の地域のみ配達が可能。
 △：条件により一部に配達が可能（ワタミ：土日祝日配達不可）
 ※網掛けは、全事業所が配達できない地域

事業所名		1	2	3	4	5	6	7	8						
		ヤマダのみ	ひまわり	電動ワック 123 住友銀行	電動ワック 123 住友銀行	オンライン	宇久社協	ワタミの 宅食 ※休日は配達不可	ワタミの 宅食 ※休日は配達不可						
令和6年2月 配達実績	人数	2	0	25	2	1	0	—	—	計 30人					
	配食数	58	0	538	55	20	0	—	—	計 671食					
地区	番号	町名								◎	○	△	対応事業者数		
吉井	224	吉井町草ノ尾			◎	◎				△	2	0	1	3社	
	225	吉井町福井			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	226	吉井町板樋			◎	◎				△	2	0	1	3社	
	227	吉井町梶木場			◎	◎				△	2	0	1	3社	
	228	吉井町直谷			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	229	吉井町立石			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	230	吉井町大渡			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	231	吉井町前岳			◎	◎				△	2	0	1	3社	
	232	吉井町春明			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	233	吉井町踊瀬			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	234	吉井町橋川内			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	235	吉井町橋口			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	236	吉井町上吉田			◎	◎					2	0	0	2社	
	237	吉井町田原			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	238	吉井町吉元			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
	239	吉井町下原			◎	◎				△	2	0	1	3社	
	240	吉井町乙石尾			◎	◎				△	2	0	1	3社	
	241	吉井町高峰			◎	◎					2	0	0	2社	
	世知原	242	世知原町開作				◎					1	0	0	1社
		243	世知原町上野原				◎				◎	2	0	0	2社
		244	世知原町檜巻			◎	◎				◎	3	0	0	3社
245		世知原町北川内			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
246		世知原町赤木場				◎					1	0	0	1社	
247		世知原町中通			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
248		世知原町長田代				◎					1	0	0	1社	
249		世知原町太田			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
250		世知原町木浦原			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
251		世知原町筋瀬			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
252		世知原町岩谷口			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
253		世知原町栗迎			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
254		世知原町矢穂			◎	◎				◎	3	0	0	3社	
255		世知原町西ノ岳				◎					1	0	0	1社	
宇久	256	宇久町平					◎				1	0	0	1社	
	257	宇久町野方					◎				1	0	0	1社	
	258	宇久町太田江					◎				1	0	0	1社	
	259	宇久町木場					◎				1	0	0	1社	
	260	宇久町大久保					◎				1	0	0	1社	
	261	宇久町小浜					◎				1	0	0	1社	
	262	宇久町神浦					◎				1	0	0	1社	
	263	宇久町飯良					◎				1	0	0	1社	
	264	宇久町本飯良					◎				1	0	0	1社	
	265	宇久町寺島									0	0	0	0社 不可	

配達地域について(令和6年度)

◎：その町の全域に配達が可能。
 ○：その町の一部の地域のみ配達が可能。
 △：条件により一部に配達が可能（ワタミ：土日祝日配達不可）
 ※網掛けは、全事業所が配達できない地域

事業所名		1	2	3	4	5	6	7	8					
		やまぐみ	ひまわり	電報クラブ 123 後援事業	電報クラブ 123 平戸店	オンリーワン	宇久社協	ワタミの 宅食 （平日限定事業所）	ワタミの 宅食 （土日限定事業所）					
令和6年2月 配達実績		人数	2	0	25	2	1	0	—	—	計 30人			
		配食数	58	0	538	55	20	0	—	—	計 671食			
地区	番号	町名								◎	○	△	対応事業者数	
小佐々	266	小佐々町黒石			◎					△	1	0	1	2社
	267	小佐々町小坂			◎					△	1	0	1	2社
	268	小佐々町臼ノ浦			◎					△	1	0	1	2社
	269	小佐々町田原			◎					△	1	0	1	2社
	270	小佐々町平原			◎					△	1	0	1	2社
	271	小佐々町岳ノ木場			◎						1	0	0	1社
	272	小佐々町西川内			◎					△	1	0	1	2社
	273	小佐々町楠泊			◎					△	1	0	1	2社
	274	小佐々町矢岳			◎					△	1	0	1	2社
	275	小佐々町葛籠			◎						1	0	0	1社
江迎	276	江迎町赤坂			◎	◎				△	2	0	1	3社
	277	江迎町飯良坂			◎	◎					2	0	0	2社
	278	江迎町猪鬣			◎	◎				△	2	0	1	3社
	279	江迎町埋立			◎	◎				△	2	0	1	3社
	280	江迎町殿尾			◎	◎					2	0	0	2社
	281	江迎町奥川内			◎	◎					2	0	0	2社
	282	江迎町楓ノ村			◎	◎				△	2	0	1	3社
	283	江迎町上川内			◎	◎				△	2	0	1	3社
	284	江迎町北田			◎	◎					2	0	0	2社
	285	江迎町北平			◎	◎				△	2	0	1	3社
	286	江迎町栗越			◎	◎					2	0	0	2社
	287	江迎町小川内			◎	◎				△	2	0	1	3社
	288	江迎町志戸氏			◎	◎				△	2	0	1	3社
	289	江迎町末橋			◎	◎				△	2	0	1	3社
	290	江迎町田ノ元			◎	◎				△	2	0	1	3社
	291	江迎町中尾			◎	◎				△	2	0	1	3社
	292	江迎町長坂			◎	◎				△	2	0	1	3社
293	江迎町七腕			◎	◎				△	2	0	1	3社	
294	江迎町横引			◎	◎					2	0	0	2社	
295	江迎町三浦			◎	◎				△	2	0	1	3社	
296	江迎町乱橋			◎	◎				△	2	0	1	3社	
鹿町	297	鹿町町大屋			◎	◎				△	2	0	1	3社
	298	鹿町町上歌ヶ浦			◎	◎				△	2	0	1	3社
	299	鹿町町口ノ里			◎	◎				△	2	0	1	3社
	300	鹿町町鹿町			◎	◎				△	2	0	1	3社
	301	鹿町町下歌ヶ浦			◎	◎				△	2	0	1	3社
	302	鹿町町新深江			◎	◎				△	2	0	1	3社
	303	鹿町町土肥ノ浦			◎	◎				△	2	0	1	3社
	304	鹿町町中野			◎	◎				△	2	0	1	3社
	305	鹿町町長串			◎	◎				△	2	0	1	3社
	306	鹿町町深江			◎	◎				△	2	0	1	3社
	307	鹿町町深江潟			◎	◎				△	2	0	1	3社
	308	鹿町町船ノ村			○	◎				△	1	1	1	3社

【意見】

2024（令和6）年度実績からは、特定の事業者を受注が集中している状

況が見受けられる。このこと自体は当該事業者の不断の努力の賜物とも考えられるが、当該事業者が人手不足などによって本事業から撤退した場合、代替手段の確保が困難となるなど、本事業の継続に支障を来すおそれがある。また、主に離島・山間部において、配食不可の地域が存在するが、これは民間の事業者単独では解決が困難な課題であり、行政の関与が不可欠と考えられるが、現時点において、佐世保市として本課題の解決に向けた具体的な取り組みはなされていない。配食サービスは、高齢者の栄養面への配慮のみならず、見守り機能としての役割もあるのであるから、市としても、配食サービスの空白地域がなくすよう努力すべきである。

ウ 住宅改修支援事業

(ア) 概要

「住宅改修のみのサービス利用」のプラン作成について、住宅改修支援を行った居宅介護支援事業者や地域包括支援センターへ1件あたり2000円を助成する事業である。

(イ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
助成件数	計画	105件	105件	105件	109件	109件	109件
	実績	102件	106件	118件			

※令和5（2023）年度の実績は見込み

【意見】

実績と計画によると、計画比を越える実績が続いている。2024（令和6）年度以降は計画値が増加しているが、それでも実績数が上回る可能性もある。需要の表れであると考えられるから、より多くの助成ができるように、計画値をより増加させる方向で見直すとともに、必要な人員や予算も確保すべきであ

る。

エ 離島介護サービス確保事業

(ア) 概要

介護サービス事業所がない高島において、要介護者や虚弱高齢者に軽度のリハビリやレクリエーション等のサービスを提供し、要介護状態の悪化防止や介護予防につなげるとともに、家族の介護負担軽減を図ることを目的とする事業である(2009(平成21)年1月から民間事業者へ委託)。同目的達成のため、「いこいの広場」を運営している。また、黒島においては、唯一介護サービスを提供する事業所への運営補助を行っている。

(イ) 現状と課題

参加者の実人数はやや減少しており、参加者が固定化している。体操やレクリエーション等の集団サービスに参加する人も少なくなってきた。参加者も年々高齢になっており、病気などで入院した場合には島外で暮らす者が多いため、さらに参加者数が減少する可能性がある。

(ウ) 今後の方針

高島においては、町内会役員等に協力を依頼し、いこいの広場や介護予防に関する情報の周知を行い、介護予防の意識を町ぐるみで高めていく。また、関係部署と連携を取り、週2回のいこいの広場を継続的に実施するとともに、参加者のニーズに応じた事業展開により、サービスの充実を目指します。黒島地域においては、当該地域での介護サービス事業所の運営を継続するため、引き続き支援に取り組んでいく予定である。

(エ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
実施回数 参加実人数	計画	週2回 36人	週2回 36人	週2回 36人	週2回 36人	週2回 36人	週2回 36人
	実績	98回 27人	99回 26人	100回 14人			

※令和5年（2023年）年度の実績は見込み

オ 高齢者生活福祉センター運営事業（生活支援ハウス）

（ア）概要

生活支援ハウスとは、原則として一人暮らし又は夫婦のみ世帯で家族の援助が困難な者や、高齢のため独立して生活することに不安がある者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することで、健康で明るい生活を送ることができるよう支援することを目的とした施設である。

4施設が運営されており、要支援までの方が入る施設で対象者が限られるが、見守りが必要な高齢者にとって必要な施設であり、継続して適正な運営に努めていく予定である。

（イ）実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
利用者数	計画	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	実績	45.4人	45.1人	48人			

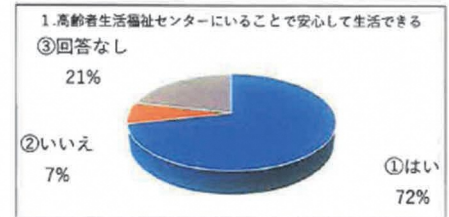
※令和5（2023）年度の実績は12月1日時点の実績

サービス名		生活支援ハウス		令和6年4月1日現在		
No.	施設・事業所名	住所	運営形態	定員数	職員の配置	法人名
1	春日スプリングガーデン	春日町710-1	委託	20	生活援助員：常勤2名、非常勤1名、宿直体制	社会福祉法人 栗港会
2	あそかのもり	松瀬町1150	委託	20	生活援助員：常勤2名、非常勤1名、宿直体制	社会福祉法人 アソカ仁寿会
3	槇の木庵	江迎町赤坂282-24	委託	10	生活援助員：常勤1名、非常勤1名、宿直体制	社会福祉法人 白寿会
4	宇久高齢者生活福祉センター	宇久町平1911-1	指定管理	20	生活援助員：常勤2名、非常勤1名、宿直体制	社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

利用者に実施したアンケート結果は以下のとおりである。

令和6年度宇久高齢者生活福祉センター利用者アンケート

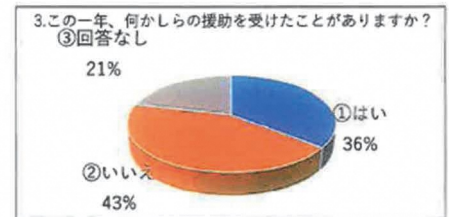
1. 高齢者生活福祉センターにいて安心して生活できる。
- | | |
|-------|----|
| ①はい | 10 |
| ②いいえ | 1 |
| ③回答なし | 3 |



2. 1で「はい」と答えた方にお尋ねします。どのようなときに安心できましたか？

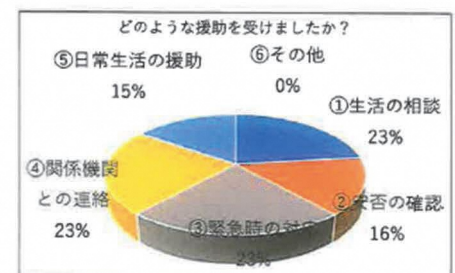
- 回答
- ・食事の時
 - ・昼も夜も管理人さんが見守っていること。
 - ・各部屋にトイレがあり大変便利です。
 - ・めまいがするとき。
 - ・皆さんと仲良くすることです。
 - ・周りに人がいるのが安心。

3. この一年、何かしらの援助を受けたことがありますか？
- | | |
|-------|---|
| ①はい | 5 |
| ②いいえ | 6 |
| ③回答なし | 3 |



4. 3で「はい」と答えた方にお尋ねします。どのような援助を受けましたか？

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ①生活の相談(悩み・心配事の相談や、福祉サービスに関する相談) | 3 |
| ②安否の確認(訪問による安否の確認と、日常生活における健康状態の把握) | 2 |
| ③緊急時の対応(緊急時の連絡と対応) | 3 |
| ④関係機関との連絡(福祉サービス事業者等への連絡、手続きの手伝い) | 3 |
| ⑤日常生活の援助(自立した生活を送るために必要な日常生活の援助) | 2 |
| ⑥その他 | 0 |



5. 高齢者生活福祉センターへの要望はありますか？

- ・利用者間の会話をする時間も少なくコミュニケーションがとりにくい。毎日楽しく過ごすためにはどういった支援をいただけますか。
- ・食生活まことにありがとうございます。

6. その他、ご意見がある場合はご記入ください。

- ・昼夜ともに私共を見守ってくださり感謝でいっぱいです。同じくらいの人々と話があうこと。楽しい毎日です。

カ ケアハウス

(ア) 概要

身体機能の低下や高齢などのため、独立して生活することに不安があり、かつ、家族による援助を受けることが困難な60歳以上の者を対象に、生活相談や食事などのサービスを提供することを目的とする事業である。

市内に8施設(400人分)整備されており、一般(各種相談、食事・入浴の準備、緊急時の対応等)と特定(介護保険制度に基づいたサービス提供を受けることができる(食事・入浴・排泄の介助・機能訓練等)の2種類の入所形式がある。

(イ) 今後の方針

2021(令和3)年度をピークに高齢者数が減少に転じることや民間の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の整備が進んでいることから、第9期介護保険事業計画期間中の新たな整備は行わず、引き続き、事業者と連携を図りながら、サービスの質の向上に努める。

(ウ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
定員数	計画	400人	400人	400人	400人	400人	400人
	実績	400人	400人	400人			

※令和5(2023)年度の実績は見込み

③利用者数の実績・推移（人数・内訳等）と計画

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R2～R6年度 (5年平均)
年間述べ入居者(全体)	4,470人	4,302人	4,072人	4,019人	4,259人	4,224人
一般	1,288人	1,097人	961人	1,003人	1,014人	1,073人
特定	3,182人	3,205人	3,111人	3,016人	3,245人	3,152人
(月平均入居者)	372人	359人	339人	335人	355人	352人

※計画値は、各年度とも定員数の400人

キ 離島介護サービス渡航費等支援事業

(ア) 概要

介護サービス事業者が少ない離島地域（黒島、高島、寺島、宇久島）に居住する介護保険被保険者に対し、介護サービスを利用する際の渡航費を助成するとともに、サービスを提供する事業者に対しても渡航費を助成することで、利用者やサービス提供事業者等の経済的負担を軽減することによって、離島地域においても本土と同等のサービス利用ができるよう支援することを目的とする事業である。

(イ) 現状と課題

2022（令和4）年度から宇久島における福祉用具貸与にかかる渡航費を、自動車航送運賃を含む実費の助成へと対象を拡大したことにより、実績が増加傾向にある。

広報としては、介護保険サービスガイド・佐世保市補助金一覧への掲載を行っている。

(ウ) 今後の方針

離島地域に居住する要介護認定者等が本土と同様の介護サービスを利用できるようにサービス利用者及びサービス提供事業者側に対して渡航に係る費用の助成を行うと共に、制度の周知に努める。

(エ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
利用件数	計画	100人	100人	100人	200人	200人	200人
	実績	41人	67人	200人			

※令和5年(2023年)年度の実績は見込み

【意見】

広報の方法として、介護保険サービスガイド及び佐世保市補助金一覧への掲載を行っているが、事業による支援を必要とする者に適切な周知がなされているか不明である。本事業の存在を認識しているか否かについて等のアンケートを実施するほか、離島地域と対象が限定されているため、離島地域の要介護認定者等の居宅に対して事業の存在を周知する書面を送付することや、ケアマネジャーを通じて情報提供を行うなど、本事業の支援を必要とする者に適切な周知がなされるよう広報に努めていただきたい。

ク 低所得者対策

(ア) 概要

社会福祉法人等による利用者負担軽減制度によって、低所得者の介護サービス利用負担軽減を行う事業である。対象は以下のとおりである。

- a 市民税世帯非課税者であって、次の要件を全て満たす者
 - ① 年間収入が単身世帯で150万円、世帯員が1人増えるごとに50万円を加算した額以下である
 - ② 預貯金等の額が単身世帯で350万円、世帯員が1人増えるごとに100万円を加算した額以下である

- ③ 世帯全員が資産を有していない(住所地での土地、家屋を除く)。
- ④ 負担能力のある親族等に扶養されていない
- ⑤ 介護保険料を滞納していない

b 生活保護受給者

(イ) 現状と課題

現在は、17法人が申出を行っている。社会福祉法人等による利用者負担軽減制度及び加算により利用負担額に地域格差のある離島・中山間地域等における利用者負担額軽減制度を継続して実施し、低所得者の方が介護サービスを利用しやすい環境づくりに努める。

(ウ) 実績等

■実績と計画（社会福祉法人等による利用者負担軽減制度）

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
利用者数 (延べ人数)	計画	10人	10人	10人	13人	13人	13人
	実績	16人	15人	7人			

※令和5（2023）年度の実績は見込み

■実績と計画（離島・中山間地域等における利用者負担額軽減制度）

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
利用者数 (延べ人数)	計画	40人	40人	40人	16人	16人	16人
	実績	34人	19人	13人			

※令和5（2023）年度の実績は見込み

【意見】

実績と計画が示されているもののうち、離島・中山間地域における利用者負担軽減制度では利用が低迷している2024（令和6）年度以降は計画値が16となっているが、実績が減少傾向にあることから、今後も実績が減少していくことが見込まれる。島内の特別養護老人ホームへの入所や島外の家族のもとに転出していることが原因と考えられるところ、中長期的な需要・必要性を検討するとともに、需要が存在するのであれば利用が増えるように需要の掘り起

こしを検討すべきである。

ケ いきいき元気食事づくり教室事業

(ア) 概要

高齢者が元気で生きがいを持って暮らすことができるよう、元気なうちから食事に気をつけ、いくつになっても楽しくおいしく食べ続けるために、手軽にできる簡単メニューの調理実習を開催し、併せて、口腔ケアや低栄養の予防についての指導を行う事業である。

(イ) 現状と課題

2021（令和3）年度から新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために3回シリーズから2回シリーズへ変更し、定員もコロナ禍前より減らして実施している。1回あたりの定員は、調理実習に携わることができる人数や教室を開催する施設の収容人数を考慮して設定している。開催回数は、他の料理教室との兼ね合いやボランティアとして参加している食生活改善推進協議会会員の活動状況を踏まえて設定している。全16会場のうち2会場を男性限定の教室として開催している。新規参加者を増やすために、周知を図っていく予定である。

(ウ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
開催回数 参加者数	計画	48回 384人	48回 384人	48回 384人	32回 512人	32回 512人	32回 512人
	実績	22回 91人	32回 196人	32回 384人			

※令和5（2023）年度の実績は見込み

	場所	日程	曜日	参加者数			
				1回目	2回目	合計	平均
1	中央保健福祉センター	5/13、20	月	14	16	30	15.0
2	広田地区コミュニティセンター	5/14、21	火	16	14	30	15.0
3	スピカ	5/16、21	木	12	9	21	10.5
4	大野地区コミュニティセンター	6/4、11	火	14	7	21	10.5
5	相浦地区コミュニティセンター	6/5、12	水	13	14	27	13.5
6	中央保健福祉センター(男性)	6/18、25	火	7	8	15	7.5
7	早岐地区コミュニティセンター	6/21、28	金	6	9	15	7.5
8	宇久保健福祉センター	10/8、22	火	7	11	18	9.0
9	スピカ	10/10、17	木	8	11	19	9.5
10	愛宕地区コミュニティセンター	10/11、18	金	12	11	23	11.5
11	中央保健福祉センター	10/22、29	火	9	13	22	11.0
12	早岐地区コミュニティセンター	10/25、11/1	金	15	11	26	13.0
13	中央保健福祉センター(男性)	11/11、18	月	7	7	14	7.0
14	愛宕地区コミュニティセンター	11/14、21	木	12	15	27	13.5
15	広田地区コミュニティセンター	11/26、12/3	火	16	13	29	14.5
16	相浦地区コミュニティセンター	11/29、12/6	金	10	10	20	10.0
合計				178	179	357	11.2
男性コース参加者(2会場)				14	15	29	7.3
男性コース以外の参加者(14会場)				164	164	328	11.7

調理例は以下のとおりである。



R6 前期(春・夏) ①

～献立～

- ★ごはん
- ★鶏肉とかぼちゃの照り焼き
- ★レモンマリネ
- ★減塩みそ汁

佐世保市いきいき元気食事づくり教室

★ごはん

(熱量 234kcal、蛋白質 3.8g、脂質 0.5g、カルシウム 5mg、食塩相当量 0g)

材料(2人分)		
ごはん	150g×2 (米65g×2)	中茶碗1杯のごはんは約150gです。



フライパン1つで付け合わせまで作ります。
お弁当のおかずにもいいですよ。



★鶏肉とかぼちゃの照り焼き

(熱量 262kcal、蛋白質 14.9g、脂質 14.5g、カルシウム 13mg、食塩相当量 1.3g)

材料 (2人分)	作り方
鶏肉(もも) 160g 小麦粉 小さじ2 かぼちゃ 80g 油 大さじ1/2 A { しょうゆ 大さじ1弱 (16g) みりん 大さじ1 酒 大さじ1 砂糖 小さじ2	① 鶏肉は皮目にフォークを数か所さして、一口大に切る。かぼちゃは種とわたを除いて5mm厚さに切る。 ② 鶏肉に小麦粉をまぶす。フライパンに油をひいて中火にかけ、中央に鶏肉を、周りにかぼちゃを並べて両面を焼く。 ③ 火が通ったらいったん食材を取り出し、フライパンの油をふき取り、Aを加えて煮詰める。食材をもどし絡める。



レモン味のサッパリとした副菜です。
暑い夏でも食が進みます。

★レモンマリネ

(熱量 49kcal、蛋白質 1.4g、脂質 2.2g、カルシウム 35 mg、食塩相当量 0.5g)

材料 (2人分)		作り方	
キャベツ	150g	① キャベツは3~4cm長さの1cm幅の短冊切りにする。 さっとゆでてザルにあげ冷ます。 ミニトマトはヘタをとり半分に切る。	
ミニトマト	40g (小4個程度)		
A	だし汁	大さじ1	② 水けを絞ったキャベツと、ミニトマトをAであえる。
	薄口しょうゆ	小さじ1	
	砂糖	小さじ1	
	レモン汁	小さじ1	
	オリーブ油	小さじ1	
	黒こしょう	少々	



みそ汁の減塩ポイント

- ・だしを効かせる
 - ・汁を少なめにする
 - ・香りの強い野菜を使う
- ちょっとした工夫でいつものみそ汁を減塩してみましょう！

★減塩みそ汁

(熱量 63cal、蛋白質 4.9g、脂質 3.9g、カルシウム 80 mg、食塩相当量 0.7g)

材料 (2人分)		作り方
厚揚げ	60g	① 厚揚げ・・・お湯をかけて油抜きし5mm厚さの短冊切り しめじ・・・石づきをのぞいてほぐす ニラ・・・1cm長さに切る
しめじ	60g	
ニラ	10g	
だし汁	200ml	② なべにだし汁を入れて火にかけ、沸騰したら①を加えて 煮て、火を消し、みそをとき入れる。
みそ	小さじ2 (12g)	

合計

栄養量 (1人分)	熱量	蛋白質	脂質	カルシウム	食塩相当量
	608 kcal	25.0g	21.1g	133mg	2.5g

※記載されている材料は基本的に2人分ですが、栄養価は1人分です。

【意見】

適切な食事や口腔ケアは介護予防にとって有益であり、教室の参加実績も良好である。調理内容にも工夫を凝らしており、男性限定コースを設け、男性の参加を促すなどの取組も行われている。実績からも需要の高さが伺えることから、現在の年2回実施から従来の年3回実施に戻すことも検討していただきたい。

コ 訪問理美容サービス事業

(ア) 概要

理美容店に行くことができない在宅の要介護1以上の方に対して、年6回を限度として、理容師、美容師を派遣してカットサービスを行い、要介護者の清潔の保持や精神的リフレッシュを図ることを目的とする事業である。

(イ) 現状と課題

カット料金については本人負担とし、出張に要する費用を市が負担している。利用者は増加傾向にある。在宅生活の質の向上のため、要介護認定者やケアマネジャー等に対して周知を図るなど、制度の普及に努め、利用を促進していく。

(ウ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
利用 回数	計画	84回	100回	100回	130回	130回	130回
	実績	83回	103回	130回			

※令和5（2023）年度の実績は見込み

(2) 家族介護支援事業

佐世保市で実施されている家族介護支援事業は以下のとおりである。

ア 介護者リフレッシュ事業

(ア) 概要

介護者が介護者同士の交流を通して長期介護による心身の疲労を癒し、気分を新たに介護に取り組めるよう、心身のリフレッシュを図ることを目的とする事業である。

(イ) 現状と課題

対象者は要介護1以上の方を在宅で介護している市内居住者で、1泊旅行と日帰り旅行を開催しているほか、臨床心理士による心の相談会を開催し、介護に関する日頃の苦労や悩みの相談を受けている。リフレッシュの仕方が多様化していることから参加者数は計画値を大きく下回っているが、介護する家族の負担軽減に効果があることから、内容等を見直しつつ事業を継続する。

全体的に利用者の減少傾向が続く中、介護者がリフレッシュできる魅力的なプランを計画し、被介護者のデイサービス等への送迎の時間にプランを調整するなど、事業内容の検討を行う。これにより、利用者の満足度を向上させ、事業の存続につなげることを目指す。

また、介護者の心の相談会も引き続き実施し、介護する家族の負担軽減を図っていく。

(ウ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
開催回数 参加者数	計画	1回 20人	1回 20人	1回 20人	1回 20人	1回 20人	1回 20人
	実績	0回 0人	0回 0人	1回 20人			

※令和3,4(2020,2021)年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※令和5(2023)年度の実績は見込み

2023(令和5)年度までは1泊2日の旅行と日帰り旅行を実施していたが、アンケート等を踏まえて、2024(令和6)年度は市内ホテルでのお食事会とマジックショーを実施した(8名参加)。

利用者の2024(令和6)年度アンケートは以下のとおりである。

介護者リフレッシュ事業アンケート集計票

開催行事	ランチ交流会	開催日	令和7年3月19日（水）
------	--------	-----	--------------

1. あなたの年齢はいくつですか？

①～40代	②50代	③60代	④70代	⑤80代～	計
0	0	5	3	0	8

2. あなたが介護している方の年齢はいくつですか？

①～50代	②60代	③70代	④80代	⑤90代～	計
1	1	1	0	5	8

3. どのくらいの期間、介護をされていますか？

1年未満	約1年	約2年	約3年	約4年	5年以上	計
2	0	0	0	0	6	8

4. 今回の介護者リフレッシュ事業をどこで知りましたか？

広報させば	市HP	チラシ	ケアマネ	知人・友人	その他	計
3	0	0	3	0	2	8

5. 今回の介護者リフレッシュ事業の内容は満足していただきましたか？

満足	どちらでもない	不満	計
8	0	0	8

6. 日頃はどのような方法でリフレッシュ（気分転換）されていますか？

CDを流しながら声を出して歌いながら家事をする。

散歩、知人との会話

旅行、外食

7. 介護保険制度の介護サービスを利用されていますか？

○	×	計
8	0	8

8. 介護に関して知りたい情報、市から発信してほしい情報はありますか？

介護サービス、認知症ケアなど

いろんな行事をもっとお知らせしてほしいです。

9. その他ご意見、ご要望等がありましたらお聞かせください。

テーブルが分かれていて、みんなを知ることができない。できれば少しみんなの自己紹介が欲しい。みんなといろいろな意見を交換したい。

もっと外に向けて情報を発信してほしいです。

今後もこのような催しを企画していただけたら・・・

【意見】

本事業の目的として、介護者の心身のリフレッシュという抽象的な内容を掲げるが、事業目的として測定可能な指標を定めなければ本事業の費用対効果を検証することが不可能であるため、アンケートの実施に際しては、単に内容に対する満足度を問うのではなく、介護に対する不安感やストレスがどの程度解消されたかについて段階評価で質問することが望ましい。また、費用対効果が不明確なのであれば、他の事業への転換等、新たな事業展開について検討を進めるべきである。

【意見】

アンケート結果にも「もっと外に向けて情報を発信してほしいです。」とあるように、広報活動が十分に行われていない様子が伺える。本事業による支援を必要とする者に情報が周知されるよう広報活動に工夫を凝らしていただきたい。

イ 徘徊高齢者家族支援サービス事業

(ア) 概要

徘徊高齢者を在宅で介護している家族にGPS（衛星位置情報）端末を貸与する事業である。

(イ) 現状と課題

端末を徘徊高齢者が携帯していないと機能しないシステムとなっている。また、高齢化に伴う認知症患者の増加があるため、利用者数も増加することが考えられる。

徘徊高齢者の介護は家族にとって負担が大きく、端末利用が可能な高齢者家族に対しては効果が高いため、事業を継続して実施し、より良いサービス提供に努める。

(ウ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
GPS端末 器利用者数	計画	14人	14人	14人	14人	14人	14人
	実績	14人	16人	14人			

※令和5（2023）年度の実績は見込み

令和6年度 徘徊高齢者家族支援事業実績

	月末利用者数	新規	廃止	位置検索			委託料
				電話	ネット	現場急行	
4月	10人	0人	0人	0回	27回	0回	13,200
5月	10人	0人	0人	0回	7回	0回	13,200
6月	10人	0人	0人	0回	4回	0回	13,200
7月	10人	0人	1人	0回	49回	0回	13,115
8月	9人	0人	0人	0回	32回	0回	11,880
9月	11人	2人	0人	0回	429回	0回	23,804
10月	11人	0人	0人	0回	597回	0回	14,520
11月	11人	0人	0人	0回	237回	0回	14,520
12月	11人	0人	0人	0回	23回	0回	14,520
1月	11人	0人	0人	0回	25回	0回	14,520
2月	11人	0人	0人	0回	37回	0回	14,520
3月	12人	1人	0人	0回	17回	0回	20,491
計	利用実人数 13人	3人	1人	0回	1,484回	0回	181,490

認知症高齢者見守りシールは以下のとおりである。

認知症高齢者見守り支援登録をしましょう！！

この制度は行方不明になる恐れがある認知症高齢者を登録し、地域での見守りと行方不明になられた場合、早期発見に役立てるものです。

登録された方には、認知症高齢者見守りシールを無料で配布しています。外出時等につけて、ご利用ください。

認知症高齢者見守りシール



【意見】

2024（令和6）年度の利用実績によると、位置情報提供サービスのみの利用に留まり、現場急行サービスの利用はなされていない。また、例年利用者数は横ばいであり、利用者が固定化していると推測される。端末利用が可能な高齢者家族に対しては一定の効果があると思われるが、徘徊高齢者が端末を携帯しないと機能しないシステムであり、構造上、その効果は限定的と言わざるを得ない。その他、徘徊高齢者家族の支援策として、認知症高齢者等見守りシール（認知症高齢者等が外出中に行方不明となり身元不明者として保護された場合に、発見者がシールの二次元コードを読み取ることで、警察署や担当包括支援センター、長寿社会課等の連絡先がわかるもの）の無料配布が行われているが、広報を積極的に行っている様子は伺えず、市民の認知度は低いと推測される。徘徊高齢者の介護は家族にとって大きな負担となることから、認知症高齢者等見守りシールの認知度向上に努めるとともに、警察・地域包括・民生委員・事業者・住民等と連携し、徘徊者の見回りネットワークの構築を図るなど、更なる事業の拡大を検討していただきたい。

ウ 介護食づくり教室事業

(ア) 概要

在宅高齢者の食事づくりに関わる者や、今後のために介護食づくりを勉強したい者を対象に、調理材料実費（300円程度）を徴収し、状態を悪化させずに食べる楽しみを持ってもらうための介護食に関する知識と工夫の習得を目的とした教室を開催する事業である。

(イ) 現状と課題

教室に参加した者の満足度は高い一方で、介護食の習得を必要としている方への周知方法に苦慮している。

地域包括支援センターやホームヘルパー等の関係機関と連携し、介護者や介護従事者などへの呼びかけにより、参加者を募集する。参加者へのアンケートを実施し、対象者のニーズに合った教室となるよう、内容の充実を図っていく。参加者は、将来に備えて学びたいという方が多いが、実際に介護をしている者もいるため、実践で役立つ内容を今後も教室で提供していく予定である。

(ウ) 実績等

■実績と計画

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
開催回数 参加者数	計画	20回 160人	20回 160人	20回 160人	20回 200人	20回 200人	20回 200人
	実績	2回 7人	20回 118人	20回 200人			

※令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた全日程が中止。代替日程を設定し、1会場(2回シリーズ)を実施。

※令和5(2023)年度の実績は見込み

利用者のアンケート結果は以下のとおりである。

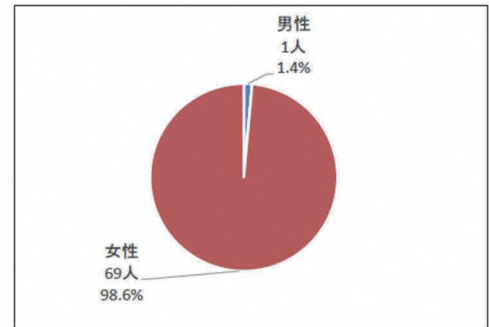
令和6年度 介護食づくり教室(かんたん編) アンケート集計

●性別

	人数(人)	割合(%)
男性	1人	1.4
女性	69人	98.6
合計	70人	100.0

考察

- ・ほとんどが女性参加者である。
- ・食事づくりや介護は女性がするものであるという考えがあるからではないか。

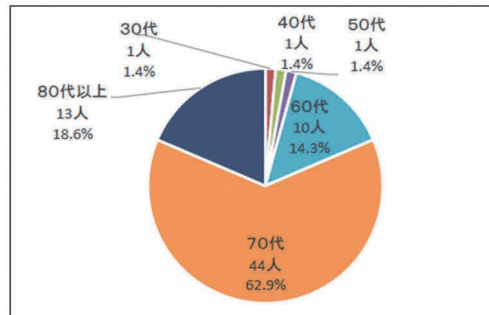


●年齢

	人数(人)	割合(%)
20代	0人	0.0
30代	1人	1.4
40代	1人	1.4
50代	1人	1.4
60代	10人	14.3
70代	44人	62.9
80代以上	13人	18.6
合計	70人	100

考察

- ・60代以上の参加者が約95%である。
- ・30代の方は仕事やボランティアに役立てたいと参加された。

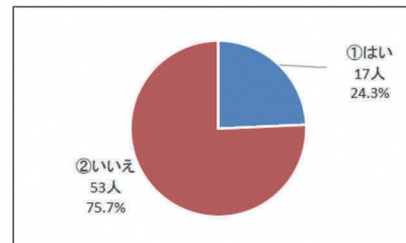


●教室参加ははじめてか

	人数(人)	割合(%)
①はい	17人	24.3
②いいえ	53人	75.7
③無回答	0人	0.0
合計	70人	100.0

考察

- ・2回目以降のリピーターが多い。
- ・「①はい」は以前いきいきのみ参加していたが、今回初めて介護に参加された方が多い。



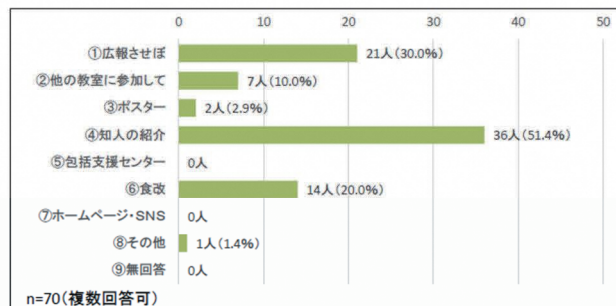
●どのようにして知ったか(回答者70名 複数回答)

	人数(人)	割合(%)
①広報させぼ	21人	30.0
②他の教室に参加して	7人	10.0
③ポスター	2人	2.9
④知人の紹介	36人	51.4
⑤包括支援センター	0人	0.0
⑥食改	14人	20.0
⑦ホームページ・SNS	0人	0.0
⑧その他	1人	1.4
⑨無回答	0人	0.0

「⑧その他」の詳細
図書館でチラシを見て

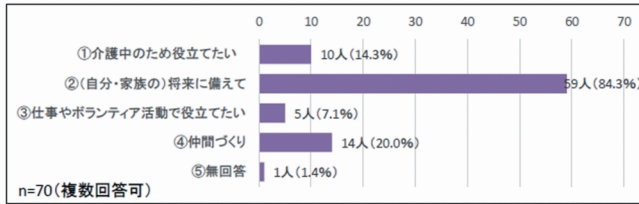
考察

- ・「①広報させぼ」「④知人の紹介」で参加されている方が多い。会場別では、中央保健福祉センターでは広報を見て参加する方が多く、地区コミュニティセンターでは参加者や開催地区食改からの紹介で参加する方が多い。
- ・昨年より開催地区ごとのポスターを作成している。ポスター掲示や、教室をコミセンだよりに掲載するなど地区コミセンにも協力をお願いしている。
- ・今年度は、ホームページやSNSを見ての参加はなく、広報させぼの2次元コードから読み取る案内は高齢者には難しいと不評であった。
- ・いきいき食事づくり教室終了時に、介護食づくり教室の紹介を行い参加者を募集したことが、「他の教室に参加して」につながった。



●参加されたきっかけ(回答者70名 複数回答)

	人数(人)	割合(%)
①介護中のため役立てたい	10人	14.3
②(自分・家族の)将来に備えて	59人	84.3
③仕事やボランティア活動で役立てたい	5人	7.1
④仲間づくり	14人	20.0
⑤無回答	1人	1.4

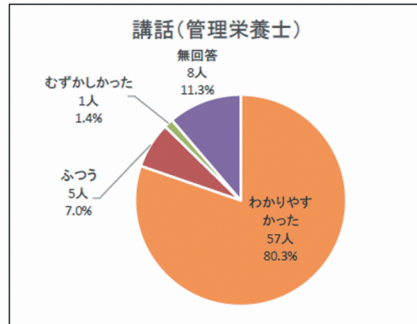


考察

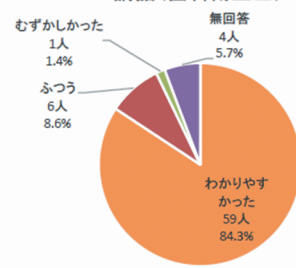
- ・「②(自分・家族の)将来に備えて」が85%近くあり、今後に備えて介護食を勉強したいのではないかと考えられる。
- ・「④仲間づくり」が20%である。1回目、2回目同じ班になることで親しくなれている。
- ・調理実習やみんなで食事をすることを楽しみに参加されている方が多い。

●講話について(管理栄養士)

	人数(人)	割合(%)
わかりやすかった	57人	81.4
ふつう	5人	7.1
むずかしかった	1人	1.4
無回答	8人	11.4



講話(歯科衛生士)



考察

- ・講話は、栄養士、歯科衛生士ともに80%以上の方が「わかりやすかった」と回答しているため、対象者に合わせた講話内容になっていると考えられる。
- ・アンケートは2回目に行く。栄養士の講話は1回目に行われるため、1回目欠席した方は無回答になっている。

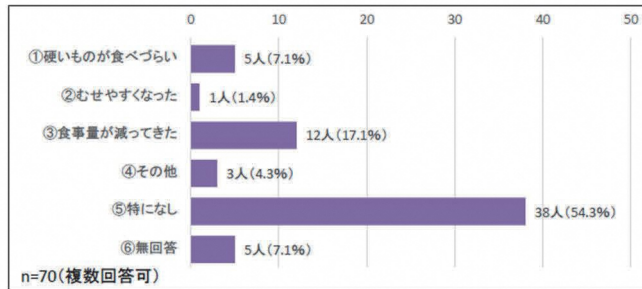
●食事のときに困っていること(回答者 70名 複数回答)

	人数(人)	割合(%)
①硬いものが食べづらい	5人	7.1
②むせやすくなった	1人	1.4
③食事量が減ってきた	12人	17.1
④その他	3人	4.3
⑤特になし	38人	54.3
⑥無回答	5人	7.1

「④その他」の詳細
早食い、食べ過ぎ、水でもむせる

考察

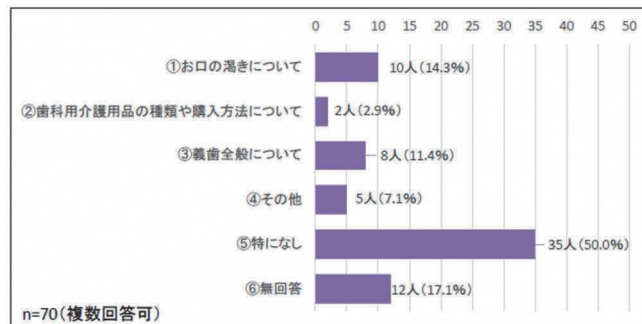
- ・半分以上の方は特に困りごとはなかった。
- ・「②むせやすくなった」「③食事の量が減ってきた」と回答する方のために、今後も介護食にするための工夫を講話の中で伝えていくことが必要と考える。



●お口のことで詳しく知りたいこと(回答者70名 複数回答)

	人数(人)	割合(%)
①お口の渇きについて	10人	14.3
②歯科用介護用品の種類や購入方法について	2人	2.9
③義歯全般について	8人	11.4
④その他	5人	7.1
⑤特になし	35人	50.0
⑥無回答	12人	17.1

「④その他」の詳細
歯みがきの仕方



考察

- ・半分以上の方は特に困りごとはなかった。当日の歯科講話に満足されているためと考えられる。
- ・詳しく知りたいことについては歯科衛生士に伝え、くわしく編で講話をおこなうようにしている。